

EC×ERP

「Magic xpi」で実現する急成長中ECサイトと ERP「GRANDIT」の高密度連携事例

～ERPを使った挑戦的な取り組み～

- 「業種特化」と「Web」と「ERP」がIT化のポイント。
ローコスト&ハイパフォーマンスでワンストップサポートを提供しています。



■ 認定資格

- ・富士通販売パートナー（一次代理店）
- ・GRANDIT ビジネスパートナー
- ・GRANDIT miraimil（SaaSモデル）販売パートナー
- ・mcframe ビジネスパートナー
- ・マジックソフトウェアジャパン magic xpi ビジネスパートナー
- ・マイクロソフト パートナーネットワーク
- ・OBCパートナーシップ ビジネスパートナー（OCIP/OAP GOLD）
- ・ADN オートデスク デベロッパーネットワーク
- ・ISO 27001（ISMS） IC21J0523
- ・労働者派遣事業 派13-313586

会社称号	パーソナル情報システム株式会社
会社設立	1972年4月12日
資本金	1億円
事業所	【本社】 東京都港区虎ノ門1-21-19 TEL 03-6880-7211 FAX 03-6880-7212 【大阪支店】 大阪市北区曽根崎新地2-6-24 TEL 06-6454-1022 FAX 06-6110-5975 【広島営業所】
役員	代表取締役社長 森本 晋司
URL	http://www.pjs.co.jp
事業内容	(1) 農林水産分野におけるコンサル/システム事業 (2) 中堅企業向けのERPコンサル/システム事業 (3) システムインテグレーション事業 (4) ネットワークソリューション事業

※2023年1月31日に、PCIソリューションズ株式会社への株式譲渡により、PCIホールディングス株式会社（東証STD：コード3918）のグループ会社となりました。



- 過去40年の業界実績を活かした「総合エンジニア手法」の提供
～「ロジスティクス戦略立案」
～「物流システムソリューション」
～「輸送システムソリューション」



- 関連会社『花きネット』のインフラを利用した新しい取引の提案
- 『コンソーシアム取引』の取引
- 『複数市場による共同販売サイト』
- 複数のネットワークソリューションが稼働中



- 大手企業やこれからの成長中堅企業とともに発展していくための中核事業
- 「SAP事業」と「mcframe事業」、「GRANDIT事業」を展開



- 厨房・ガス業界に特化した「CADソリューション」
- 企業活動のベースアップを担う「SI事業」
- 顧客満足向上を目指した「ユースウェア事業」



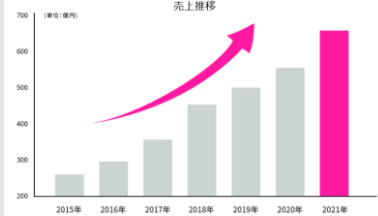
GRANDITとECシステム・ WMSとの連携構築のご紹介



導入事例 (お客様概要)



社名	エクспライス株式会社
創立日	2004年7月7日
従業員数	380名
事業内容	Eコマース事業 自社ECサイト https://www.premoa.co.jp/ 価格.COM https://kakaku.com/shop/1339/ 楽天市場 https://www.rakuten.co.jp/a-price/ プライベート・ブランド事業 MAXZEN
売上	647億円 (2021年6月期)
受賞歴	楽天/Rakuten SHOP OF THE YEAR2021 総合2位 (3年連続ベスト3) 楽天/Rakuten SHOP OF THE YEAR2021 生活家電ジャンル賞 他 各大手ECモールにおける受賞多数



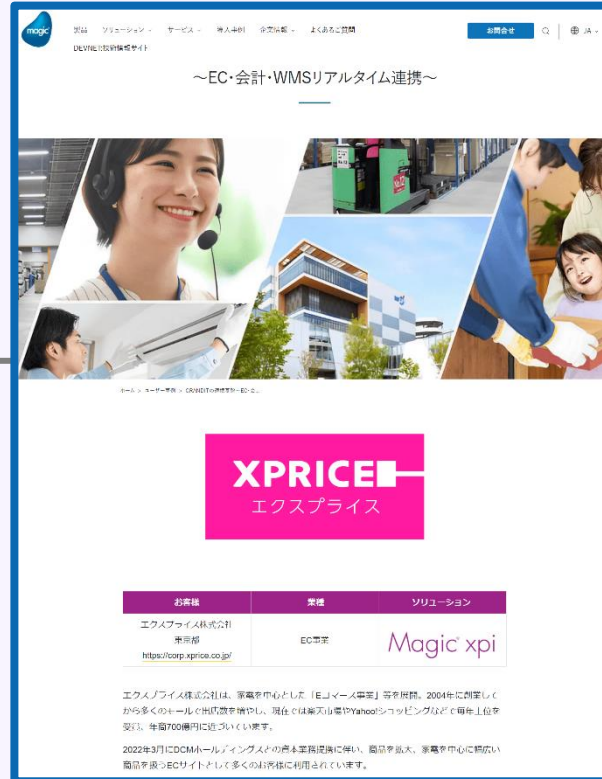
【お客様状況】

- ★家電のEC販売で急成長中
- ★具体的なIPOの準備としてERPの導入検討

【提案プロセス】

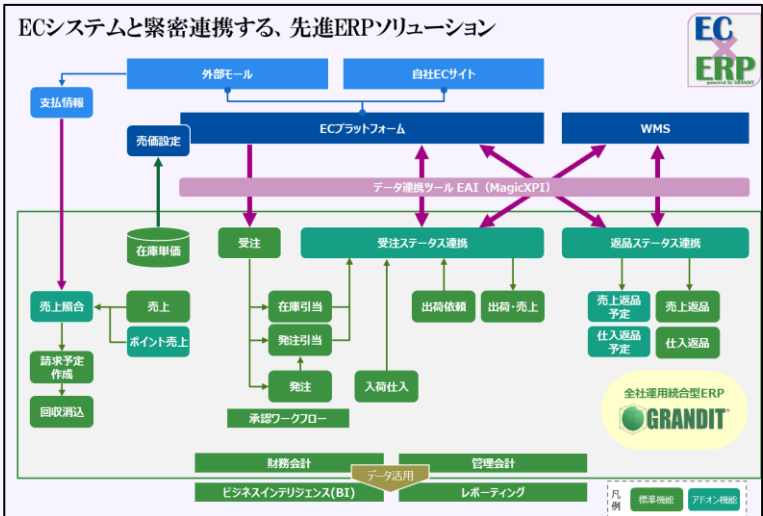
- ★WMSやECサイトとの高度なIFを整理
- ★IPO対応に向けてコンサルファームの活用
- ★本質論でのトップ向けプレゼン
- ★顧客が望む会計基準への対応とERPの活用方法論の展開

【マジックソフトウェア・ジャパン様HP導入事例より抜粋】



IPOに向けたビックバンプロジェクト (販売/会計/EC連携/WMS連携/IFRS対応)

【既存ECシステムを活かしたERP活用方法論】



【GRANDIT株式会社様HP導入事例より抜粋】



Magicians Meeting 2023



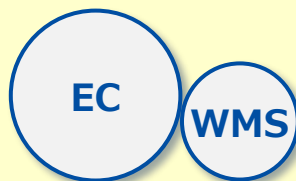
■ 課題

ECシステムだけでは追いつかないというIT課題

これまで以上に、シビアな収益管理とスピーディな経営判断が必要なのですが…
これまで運用してきた、ECシステムでは、必ずしも最適な管理ができず、様々な課題が発生しています。

【情報システムの課題】

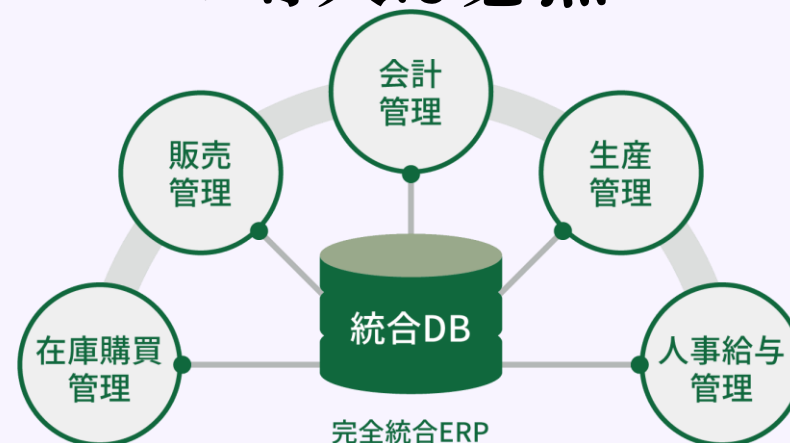
- 発注済未入荷の在庫が管理できていないため機会損失をしている。
- 価格競争の激化により、正しい在庫単価が把握できておらず利益損失が発生している。
- 外部モールなどから送られてくる支払情報を売上明細の照合で事務処理が膨大になる。
- IPOが期待されるものの、決算の精緻化・早期化ができない。



既存のECシステムは事業ノウハウのかたまりなのだが…

財管不一致に陥りやすい

ERPシステムの導入は必然

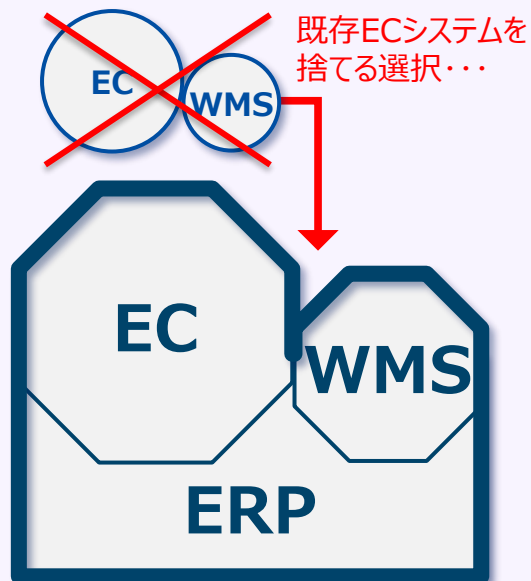


ERPとは、Enterprise Resource Planning（企業資源計画）の略で、企業の「会計業務」「人事業務」「生産業務」「物流業務」「販売業務」などの基幹となる業務を統合し、効率化、情報の一元化を図るためのシステム。

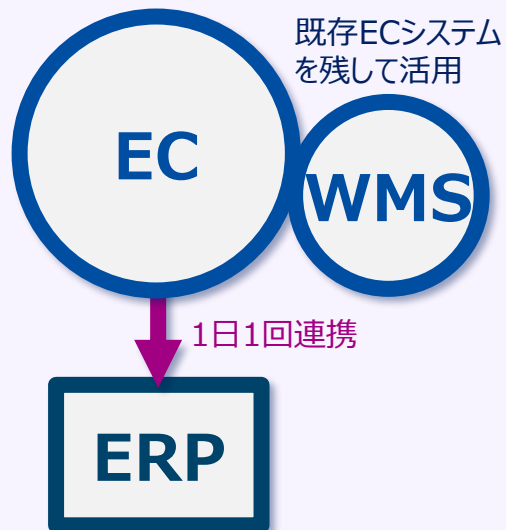
■ ポイント

ECビジネスにおけるERPシステム導入の難しさ

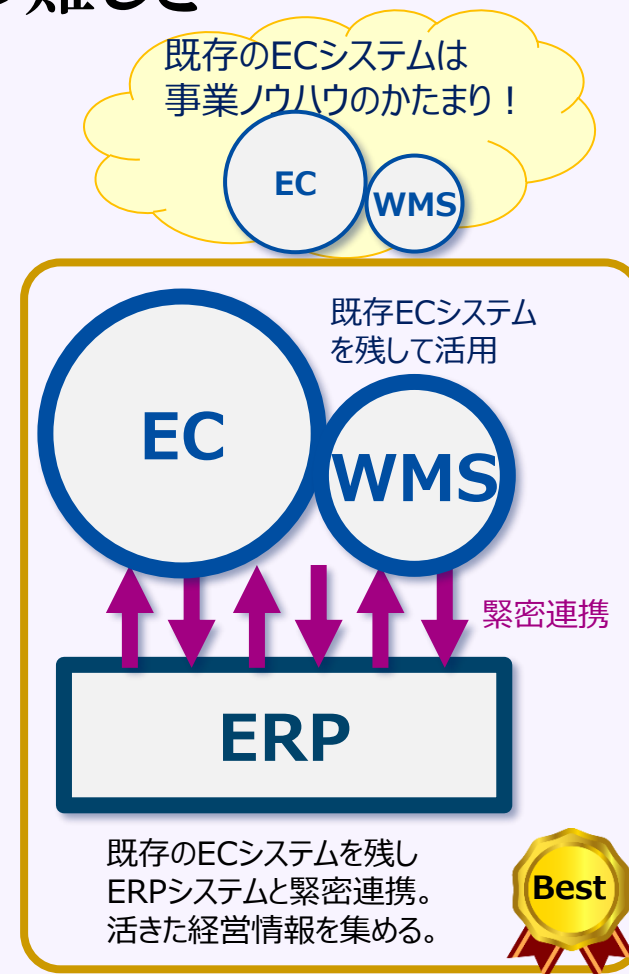
これまで運用してきた、ECシステムやWMSは、「ノウハウのかたまり」。残したい。しかし、ERPシステムを、会計管理のためだけに導入しても、課題は解決しません。ノウハウを最大限活かした上で、スピードと精度の両方を追求する導入でなければスピーディな経営判断ができる仕組みづくりにはなりません。



業界向けERPテンプレート
(一体化されたシステム)
を新たに導入する案。



既存のECシステムを残し
ERPシステムを導入するも
会計情報のために運用する。



既存のECシステムを残し
ERPシステムと緊密連携。
活かした経営情報を集める。

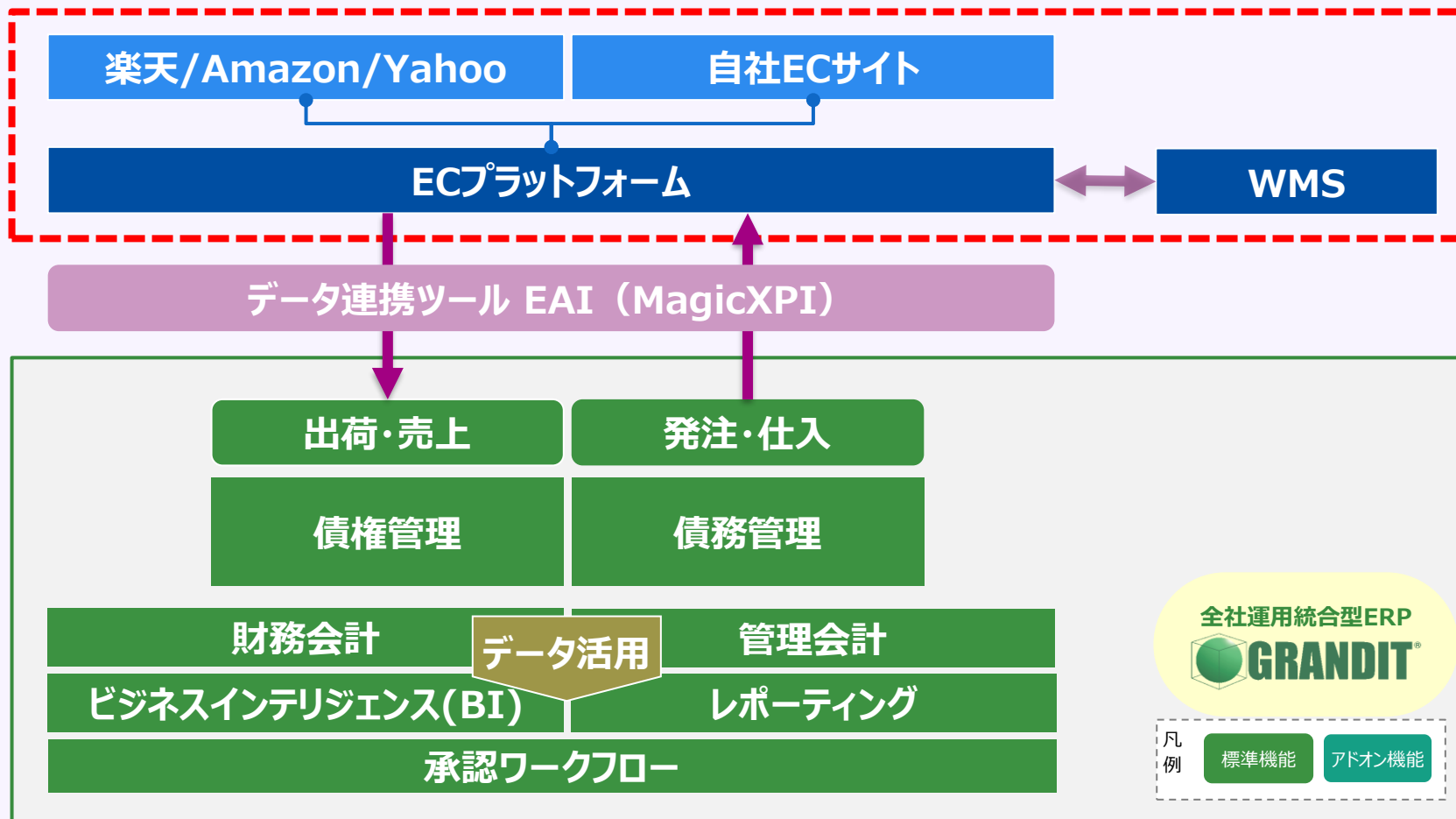
スピード&精度の両方を満たさないと成功しない

「EC×ERP」システム概要図（当初）

personal

■ システム概要構想

当初構想では、結果データのみをERPに連携する予定

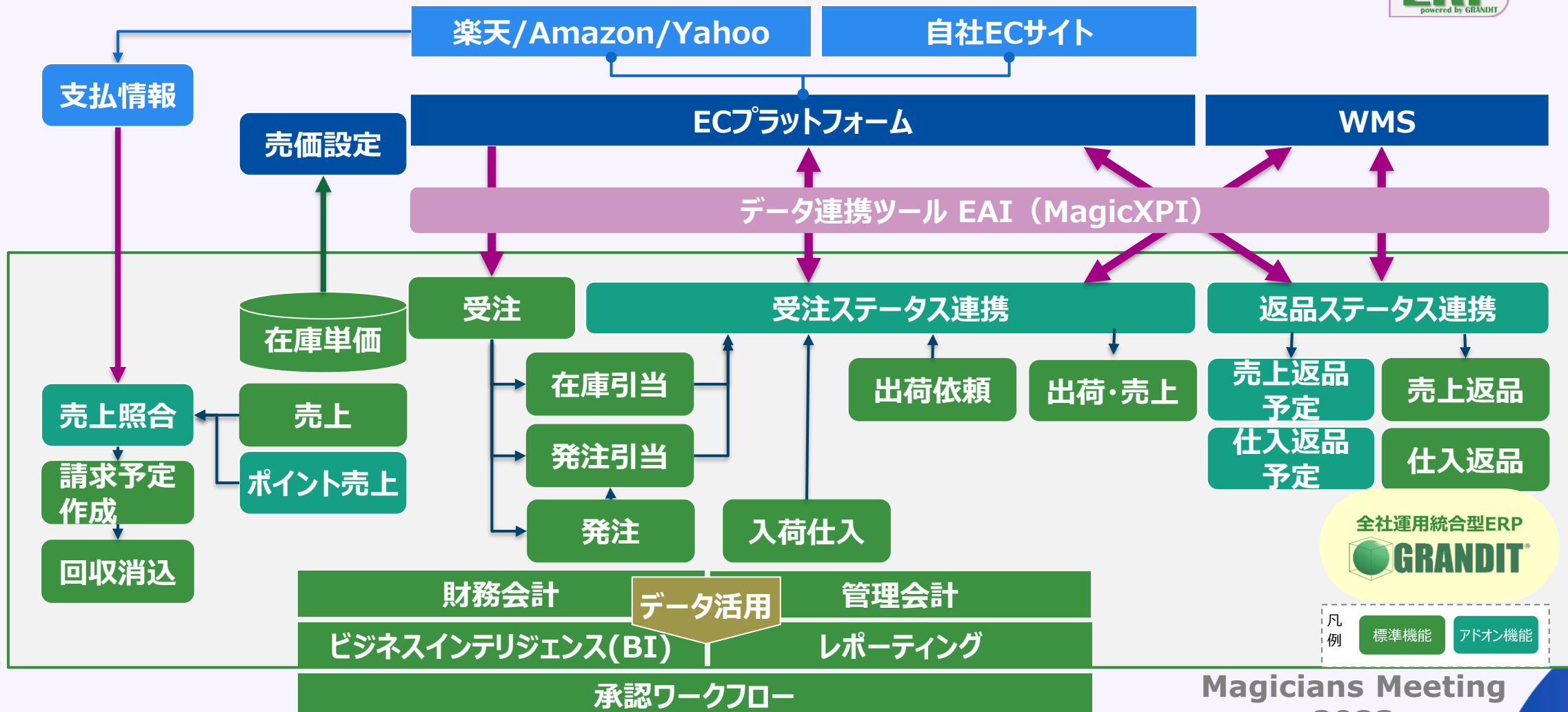


「EC×ERP」システム概要図

personal

■ システム概要

ECシステムと緊密連携する、先進ERPソリューション



「EC×ERP」システム特長

personal

■ 特長

ERPを中核とした業務の標準化と事業の根幹である「ECシステム」との緊密な連携で今後の事業拡大や変革に対応できるシステム



ERP導入を成功させる
ソリューションコンセプト
－ つながるERP －

◆ ECシステムとERPをつなぐ連携モジュール

事業ノウハウに特化したECシステムと、ERPシステムとを密結合させるための連携モジュール。全体業務フロー分析し、ECビジネスに有用な情報を、伝票ステータスの変化ごとに情報連携できる機能を搭載しました。

◆ 柔軟なデータ連携基盤

EAI (MagicXPI) の連携トリガー、スケジューラ等の機能を活用し、リアルタイムに近いシステム連携を実現。確実に実現可能な連携基盤をご提案いたします。

◆ リアルタイム在庫の把握

ERPと密連携することにより、実倉庫在庫に加えて発注（入荷予定）情報も加味した在庫情報を把握可能。ECシステムでの欠品防止・機会損失防止に有用。

◆ 精度の高い在庫単価の把握

リアルタイムで経理在庫単価を参照可能です。ECシステムでの戦略的な売価設定業務に有用です。

◆ EC決済対応

大量のモール決済データ明細消込、ポイント売上請求など、EC特有の精算業務に対応したERPバックエンド機能。

◆ ERP導入による財管一致・全体最適

「販売～会計のデータ整合」「業務標準化」「内部統制への対応」「IPO対策」「IFIRS対応」「経営情報のリアルタイム可視化」などERP導入による効果創出。

Magicians Meeting
2023



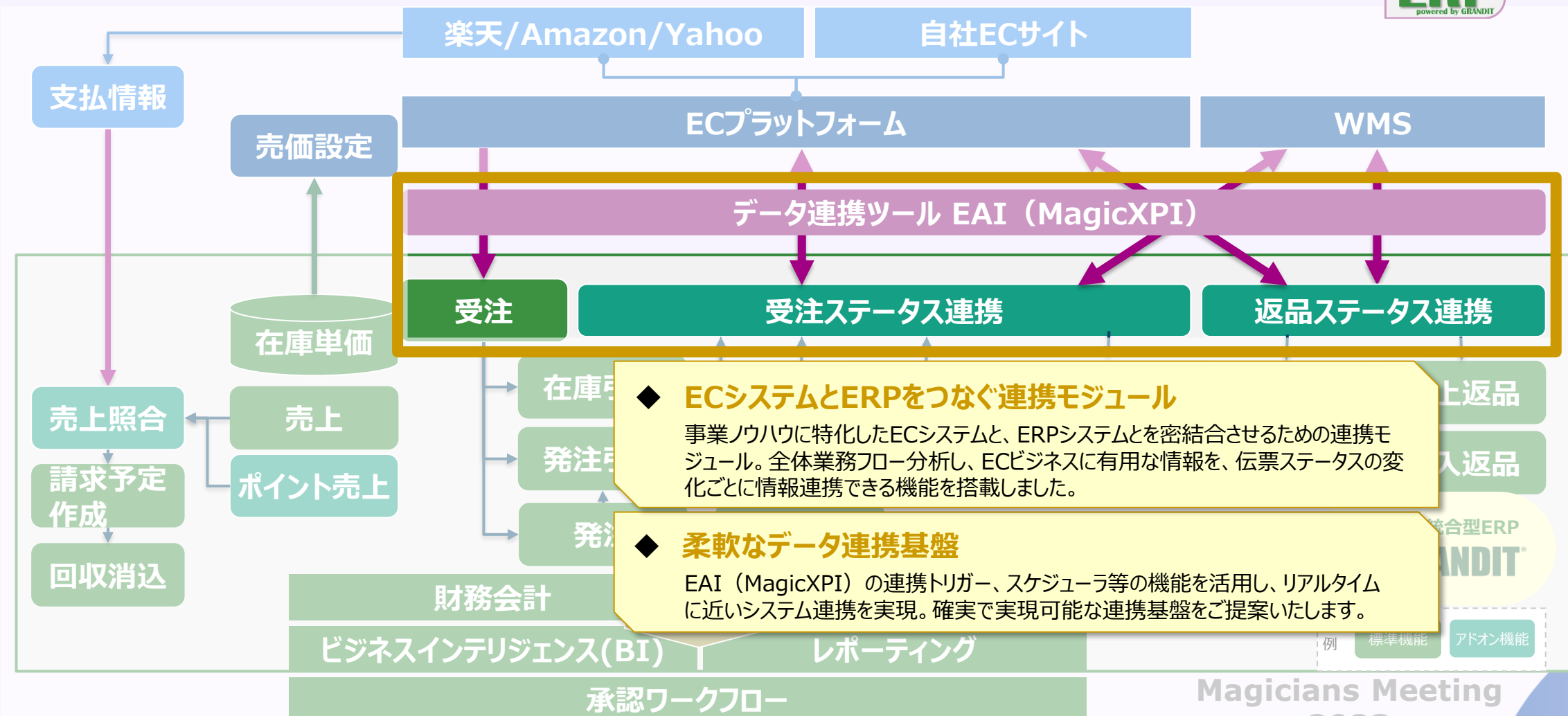
「EC×ERP」システム機能ポイント – 連携モジュール

personal



■ システム概要

ECシステムと緊密連携する、先進ERPソリューション



「EC×ERP」システム機能ポイント – つながるERP

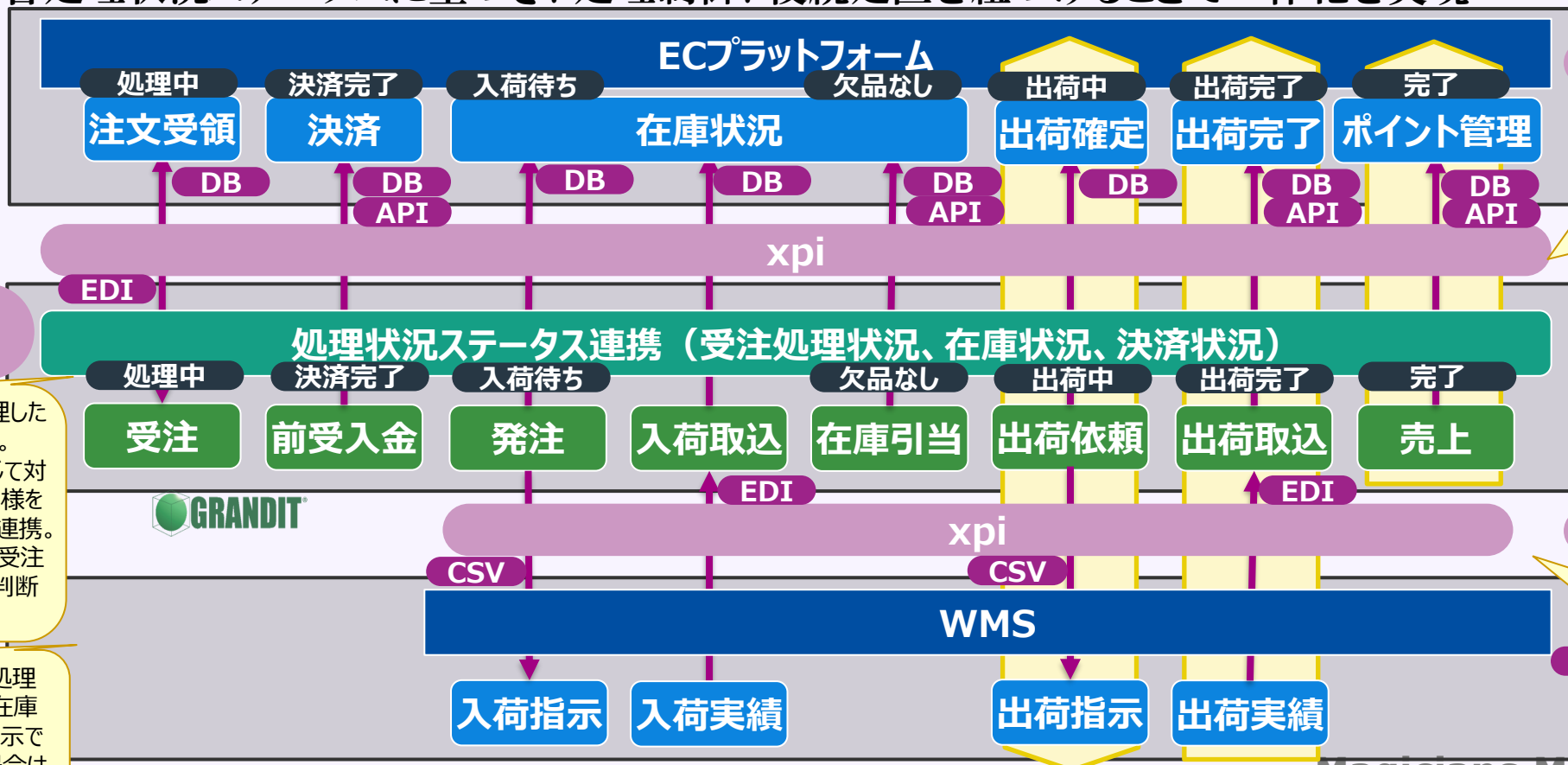
personal



■ 実現ポイント①

システム間の共通言語の整理

各処理状況ステータスの定義を明確にし、各連携システムに共通ルールとして保持
各処理状況ステータスに基づき、処理制御、後続処置を紐づけることで一体化を実現



結合先に応じた連携
システムを跨いで処理状況ステータス連携のみならず、後続処理として出荷完了メール送信やポイント付与計算のAPI等起動を実施し状況に応じた一連のプロセスを実行します。
DB API

システム間共通ステータス
システムを跨いで共通管理したいステータス、状況を定義。各システムでの状況に応じて対象ステータスを設定する仕様を定義し、ステータスを随時連携。ステータスに基づき対象の受注がどのような状況であるか判断可能とします。

結合先に応じた連携
結合先のシステム毎に柔軟に対応可能なEAIシステム基盤
SFTP CSV EDI

ステータスは各システムで処理制御にも用いられます。「在庫も引当が無ければ出荷指示できない」「出荷指示済の場合は受注変更を許可しない」など。

「EC×ERP」システム機能ポイント – つながるERP

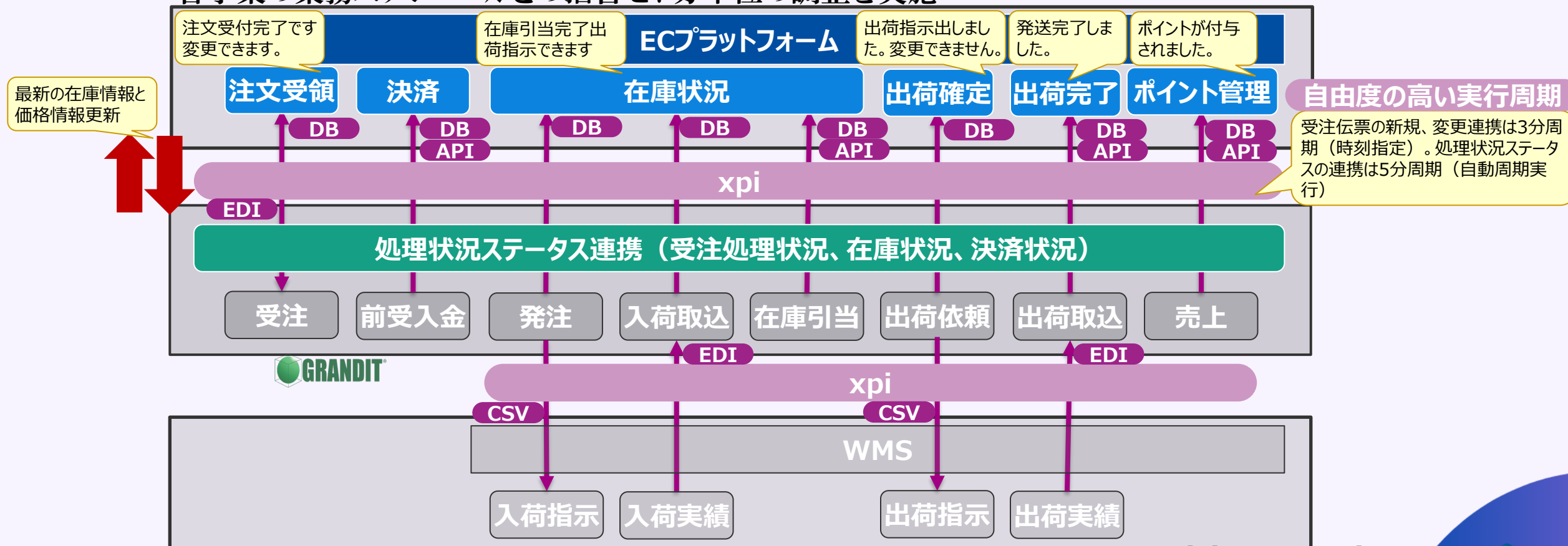
personal



■ 実現ポイント②

緊密な連携への挑戦

▶ ECプラットフォームへの処理状況ステータス連携頻度を引き上げ、顧客提供情報の鮮度を維持
各事業の業務スケジュールとの摺合せ、分単位の調整を実施



「EC×ERP」システム機能ポイント – つながるERP

personal



■ 実現ポイント②

緊密な連携への挑戦

ECプラットフォームへの処理状況ステータス連携頻度を引き上げ、顧客提供情報の鮮度を維持

▶ 各事業の業務スケジュールとの摺合せ、分単位の調整を実施

処理状況ステータス連携（受注処理状況、在庫状況、決済状況）

受注

前受入金

発注

入荷取込

在庫引当

出荷依頼

出荷取込

売上

● 設定

実行周期設定

ジョブタイプ: X19商品マスタ
X19-2商品マスタ (WMS)
X19-4商品マスタ (変更DB連携)
X44メンテナンス
X01受注連携 (新規・修正)
X45発注登録(新規)
X101商品マスタ(連携ファイル生成)
X46商品マスタ(ファイル取込)

休日カレンダー: None

イベント時間を定義
毎 1 日
実行時刻: 00:01,00:04,00:07,00:10,00:13,00:16,00:19,00:22,00:25,00:28

サービス >> Scheduler >> X01受注連携 (新規・修正) (スケジュールのプロパティ。)

連携スケジュール詳細



自由度の高い実行周期

24時間分単位の連携スケジュール定義
タイムスケジュールの複雑化に伴い、各フローの実行周期は自動周期実行ではなく、時刻指定を採用しました。

- ・エラー発生頻度の高い時刻を明確にし、ジョブの周期調整等の対策をしやすい
- ・連携停止時間の確保



各事業部門の繁忙時間ヒアリングし、業務スケジュールの繁忙時間に合わせて個々のジョブの実行周期頻度調整

「EC×ERP」システム機能ポイント – つながるERP

personal



■ 実現ポイント③

連携を止めない

エラーハンドリング (各フローのエラー検知方法とリカバリ手順の標準化)

連携エラー発生時の自動再処理機能の実装 (リカバリ負荷軽減、連携漏れ防止)

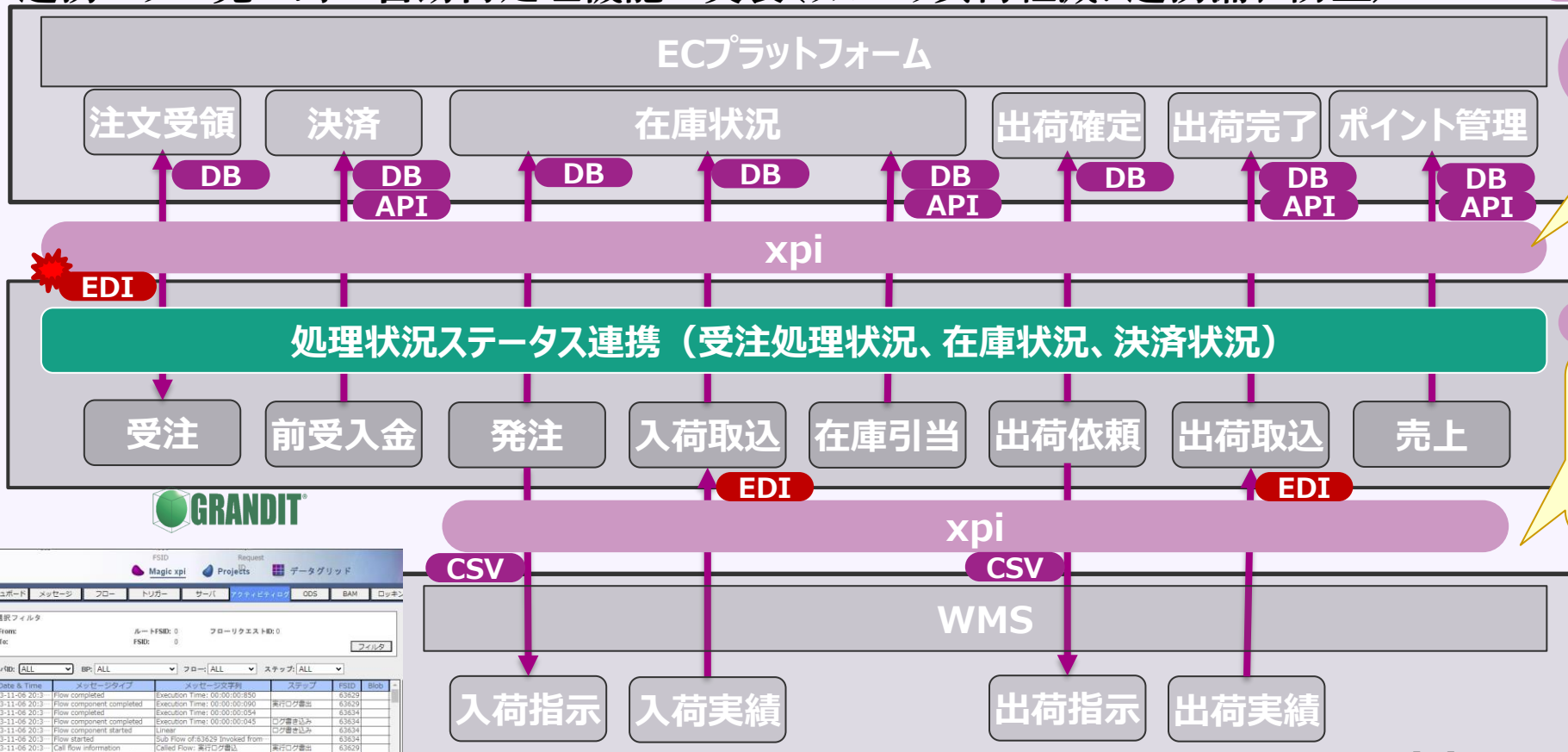
用途に応じた作り込み

連携結果を監視しエラー処理の共通化

各フローのエラー処理を共通化することで、エラー発生時の検知方法とリカバリ手順の体系化を実現します。

再処理の自動化

安定稼働後は連携データ自体の品質による課題より、ジョブ同士の衝突による例外エラーが増加します。対策として次回の周期実行の際に前回の例外エラー分を含めて再連携可能な機能を実装



挑戦的な取り組みとは ー つながるERP

personal



■ 挑戦のベクトル

つなぐ連携モジュール

個々のシステムの価値を損なわずに、性能を引き出し相乗効果を実現
お客様と各ベンダーの役割を明確にし、組合せの自由度から新たな価値と可能性

◆ EC販売のようなスピード感のあるビジネスにどこまでERPを適用できるのか・・・

ERPは正確な在庫数・在庫単価が把握できるのが強みではあるが、システムの構成上「重い」「取り回しが難しい」
ERPへのデータ連携は日に一回・結果データだけ連携という安易な結論を覆したい
「テンプレート型」ではなく高密度のデータ連携による新たなシステム構築手法

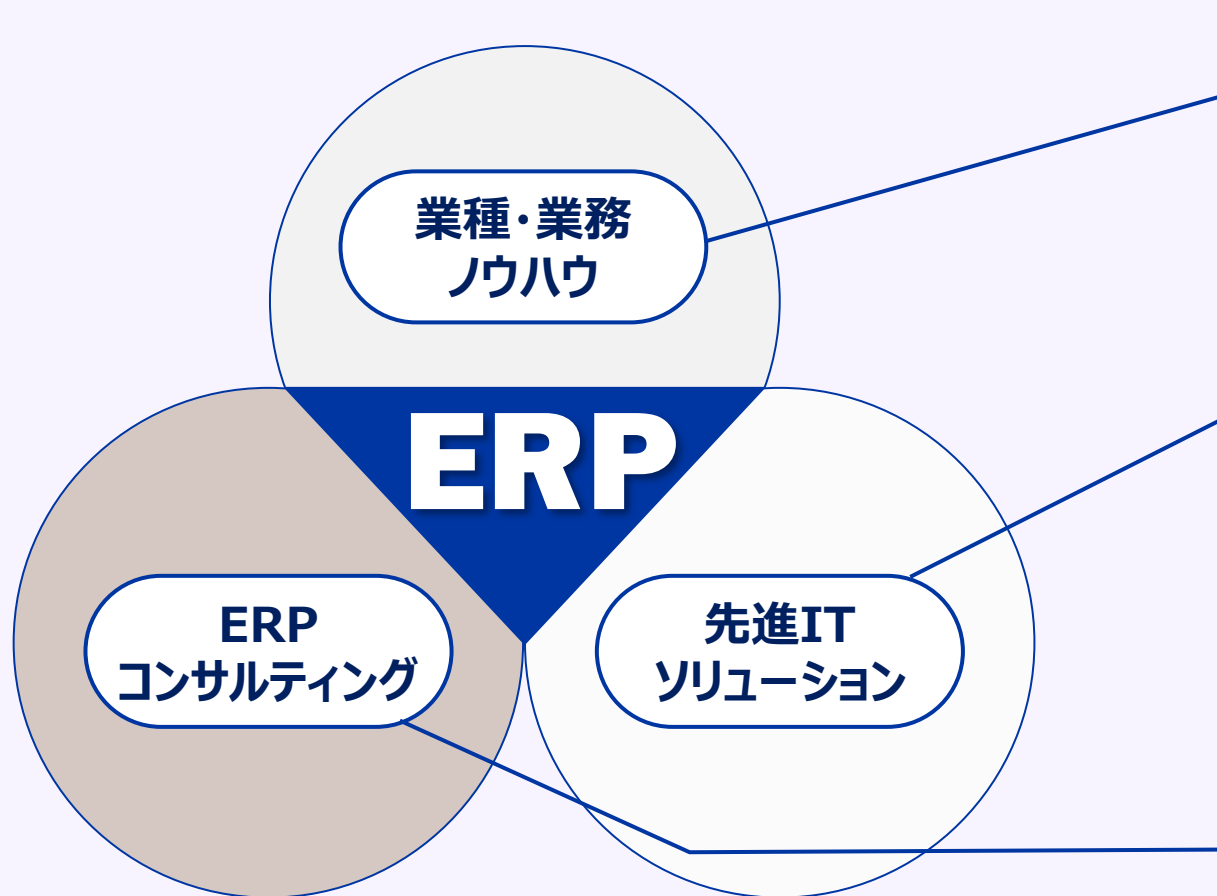
◆ GRANDITの性能をどこまで引き出せるのか・・・

GRANDITは大量データには弱いという印象があるが、これを覆したい
24時間・365日稼働という運用への挑戦
新たな業種（EC販売）への適合性を証明したい

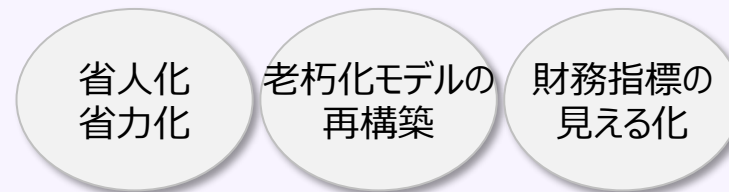
◆ お客様とどこまで1枚岩のチームとなれるのか・・・

お客様と我々ベンダーが同じ方向を向き、どうやったらより良いシステムを作れるかを考えられるチーム作り
稼働すれば終了ではなく、現在も継続的に改善中

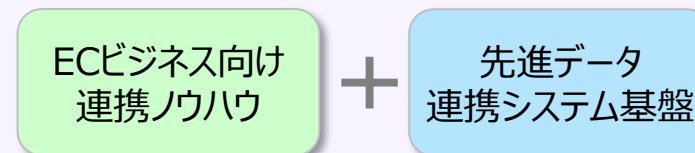
パーソナル情報システムは、EC事業者様向けに、
進化系ERPソリューションをご支援いたします。



ECビジネスのIT課題に精通したノウハウ



ECビジネスに必要なシステム連携構築の
ノウハウを先進システム基盤で実現する



ERP会計領域から逆算したシステム全体構築
のコンサルテーションは当社ならではの



ご清聴ありがとうございました。

